

表 果樹カメムシ ヒノキ球果調査（2026年8月調査）

調査地	ヒノキ 球果 結実量	10回採取り虫数							口針鞘数 ／球果
		チャバネアカカメシ		ツヤアカカメシ		クサギカメシ		合計	
		成虫	幼虫	成虫	幼虫	成虫	幼虫		
四国中央市土居町天満	中	0	0	0	0	0	0	0	12.50
西条市丹原町川根	中	1	3	0	0	0	0	4	15.80
今治市菊間町西山	中	3	0	1	0	0	0	4	19.95
今治市玉川町河之内	多	1	0	1	0	0	0	2	16.10
松山市栗井	中	0	0	0	0	0	0	0	27.50
久万高原町明神	多	0	0	0	0	0	0	0	11.40
砥部町鷺ノ崎	多	0	0	0	0	1	0	1	27.00
伊予市双海町高岸	やや多	0	1	0	0	0	0	1	28.15
内子町五十崎	やや少	1	0	0	0	0	0	1	8.50
宇和島市柿原	中	1	0	0	0	0	0	1	24.80
西予市宇和町西山田	やや多	1	0	0	0	0	0	1	13.05
愛南町城辺緑	少	1	0	0	0	0	0	1	14.15
今年の平均値		0.75	0.33	0.17	0	0.08	0.00	1.33	18.24
平年値		1.30	0.71	0.10	0	0.16	0.01	2.15	5.28
今年の順位		7	6	2	7	5	7	7	1

- ・ヒノキの球果結実状況は、地点間のばらつきが大きいものの極端に多い地点や少ない地点はない。県下全体としては並である。
- ・8月中旬におけるヒノキ球果でのカメムシ類の寄生数は**平年並**。
- ・ヒノキ1球果あたりの口針鞘数は**多**。離脱の目安となる口針鞘数25か所／果は3地点が当てはまり、8月時点では過去最多である。
- ・餌となるヒノキ球果の結実が平年並、口針鞘数が多であることから、果樹園への飛来時期は**例年よりも早い**ことが予想される。